

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	ホーム内(室内)に閉じこもりがちであり、社会参加ができていない。	出来る限り「外出の機会」を提供する。	週に1回は、全員、もしくは数名であっても、ホームの車を使い街中等へ出かけるようにケアプランに組み込んでいく。	6ヶ月
2	2	近隣との関係が希薄である。	近所づきあいを活発化させ、人付き合いの幅を少しでも広げていく。	近くにGHが新しく開設されたので、相互の「訪問」「ご招待」を定期的に行い、ご近所づきあいの輪をひろげていく。	6ヶ月
3	26	ケア、リハビリの継続性が甘い。	他施設からの入居の場合など、それまでのケア内容やリハビリ内容等の情報を収集し、できる範囲で継続できるようにする	連携の強化、情報収集の徹底。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。